# 標本棚 私と虫

## 中米の熱帯病と戦った五十五歳からの私の人生

JICA国内支援委員
田原雄一郎

WHOはNTD（顧みられない熱帯病＝Neglected Tropical Diseases）として、シャーガス病など拾数の疾病を挙げ、その対策には先進国の技術的援助が不可欠としている。これらの疾病はその地の風土や貧困と深く結び付いている。

私は五十五歳の時に三十二年間勤めた会社を辞めて、中米のグアテマラで展開中の熱帯病防圧研究のプロジェクトに参加した。

そこで大学の研究者達とシャーガス病（慢性の心臓疾患）を媒介するサシガメの分布、生態、防除法を研究し、多くの業績（学術論文）が生まれた。

左、サシガメ

右、調査中の筆者

二〇〇〇年からは、研究成果を実際の住民福祉に生かすべく、多くの専門家や海外青年協力隊員を動員して、サシガメの駆除や家屋の改善などを展開し、二種の内一種を駆逐し、他の一種も感染を起こさない低レベルに落としている。

二〇〇〇年当時、人口の五％が感染し、毎年数万の新規患者が生まれていたのが、人口統計に表れるまでに減少した。

JICAではグアテマラ以外の中米諸国にまでシャーガス病防圧作戦を展開した。WHO（アメリカ大陸ではPAHO）はこの取り組みを高く評価してくれた。五十五歳からの私の人生は楽しいものでした。

## 一度でいいから、マダニに喰いつかれたい

横浜国立大学名誉教授
青木　淳一

ササラダニの調査のため、五十年間野山を駆け回ってきた私も、マダニにやられることはなかった。「あいつにたかると、アルコール漬けにされてしまう」とダニのほうで敬遠していたのだろうか。そこで、一度でいいからマダニにつかれてみたいと念願（？）していた。

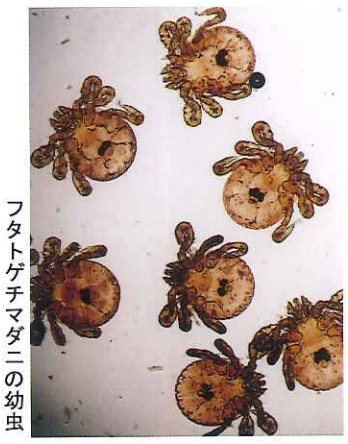
その機会は三年前の夏、石垣島でやってきた。木の枝を叩いて（甲虫を）採集していた時、マダニの幼虫の塊が降ってきて襟首から入ったらしい。幼虫は身体の柔らかい部分を探しながら食いついて吸血を始めた。

気がついたのは帰宅した二日後、背中や尻など自分で見えないところは女房にピンセットを持たせ、「ねじりながら、そっとはずしてくれ」と頼む。

一匹ずつシャーレに入れ、数えてみると三十三匹。そのダニのプレパラートを持って皮膚科へ。

「この標本、ください」と言う先生からもらった飲み薬と塗り薬を試したが猛烈なかゆみは治まらない。刺されていないところまで痒くなり始める。先生によると、それは「自家感作」というのだそうだ。

やっと痒みが収まったのは、一年後全くひどい目に会った。（充分に満足）



フタトゲチマダニの幼虫

ダニの弟子のS君に「ダニを何万匹も殺した祟りかねえ」というと、「違いますよ。それは先生がダニの研究をやめて甲虫の採集に没頭し始めたから、ダニが恨んだんですよ」だと。

## 七歳の母ちゃん
### ～最後の子育て？～

菊屋　奈良義

小僧迫（こぞうざこ＝大分県）の里山でイノシシたちとの付き合いが続いているが、「観ていると看たくなる」と言いたくなるほど、私たちのイノシシへの誤解が次々にクローズアップしてくる。

七歳になった小僧迫の母ちゃんイノシシが、なんと正月四日に一匹のウリンコを連れて公園デビューした。

ウリンコは三カ月の子猫よりもグンと小さくて、子猫たちがもの珍しがって、かわるがわる見に行く始末であった。

母ちゃんは、鼻面で私の車のリヤバンパーをゆすって、私に「来た」ことを知らせ、「ブブ」と合図してウリンコを呼び寄せ、私に見せて呉れた。

山のカラスも見に来てくれるし、
小僧迫は賑やかな正月になった。

実は六歳の冬に姿が見えなかったので、寿命だ思って半分あきらめていた母ちゃんだったのに、一匹でもウリンコを育てていることが判っただけでも、私には大きな驚きであった。

乳首が一本だけ伸びていて、「吸った痕跡」が歴然だから、この一匹のウリンコが、もしかすると小僧迫の母ちゃん最期の出産？などと思いたくなるような子育てをやって見せて呉れている。

ほかの成獣♀がウリンコにちょっかいを出すと、母ちゃんが、シラシンケンその♀を追いかけまわして、竹山から杉山迄追い出してしまうほどの報復行動を見せて呉れたことも、母ちゃんの元気さの証拠と、私には受け取れた。

何しろ最強の母ちゃんである。三年間に四匹・七匹・五匹と育ててきた母ちゃんが、生命の終焉が近い七歳になってまで、僅か一匹でもこれほど大事に育てているということが判ったのだが、この異変は私にとって何とも言えないお年玉をもらった気分だった。

今どきの若い母ちゃんどもに何とかして、見せてやりたいイノシシ母ちゃんの子育てである。

【シラシンケン】
大分県の方言で「一生懸命」のことです。

# 羽音

## 「誰でも描ける水彩はがき絵」

石崎　幸治

自分自身の楽しみのために「水彩はがき絵」を描き始めて二十年経ちました。身の回りにある小物は描けるようになりましたが、風景や人物を描くのはまだ苦手です。

形を描き出すのが難しい風景や人物をデジカメとパソコンを使って描く方法を考えました。

まずデジタル画像をパソコン使って線画にします。その線画を水彩紙に手描きで転写します。手で描き出した線画を水彩色鉛筆などで塗って仕上げます。

それとは別に最近はデジタル画像を一瞬のうちに版画風に変換して、それに着色する方法でも描いています。

画像をパソコンで水彩画風や油絵風に加工できます。

自分が気に入った色調の画像を参考に色鉛筆やクレヨンで色塗りをします。

コンテスト入賞作「野菜顔」

この方法ではデジカメで撮影できるものは何でも簡単に絵にすることができます。

だから絵を描く技術よりも芸術的センスと自分のテーマを見つけることの方が大事です。

これから子供の頃の思い出を絵にしたいと思っています。

生まれ育った故郷を訪ねて記憶に残っている風景を捜して撮影します。

またアルバムに貼ってある思い出深い写真を複写します。

それらの写真を基に一枚の絵の中に複数の場面を描く。私の思い出が詰まった大事な絵になるような予感がします。

# むしくいず

●漢字ナンクロ●

空いているマスに漢字を１文字入れて、タテ・ヨコそれぞれの熟語を完成させてください。

数字が同じマスには同じ漢字が入ります。欄外の３文字のマスに入る熟語が解答です。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ■ | 2 | 科 | ■ | 3 | 4 |
| 害 | 虫 | ■ | 5 | 6 | 服 | ■ |
| ■ | 2 | 痛 | ■ | 1 | ■ | 7 |
| 6 | ■ | 7 | 流 | ■ | 1 | 力 |
| 一 | 4 | ■ | 通 | 5 | 6 | ■ |
| 8 | 9 | 度 | ■ | 9 | ■ | 打 |
| ■ | 3 | ■ | 8 | 末 | 転 | 倒 |

●解答●

| | | |
|---|---|---|
| 8 | 5 | 9 |
| | | |

★文字対応表★

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| | | |
| 4 | 5 | 6 |
| | | |
| 7 | 8 | 9 |
| | | |

◆応募規定　ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。
〒105-0014　東京都港区芝2の23の4
アペックス産業㈱内　APEX　CLUB宛
ファクシミリ番号　03-3455-6558
締切は平成25年8月31日（土）（当日消印有効）
正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。

★前号の正解と当選者（順不同・敬称略）
正解は『メンカイ』でした。
当選者：秋吉敬吾、森本竹織、石井裕美子の３名様です。

# 触覚BOOK

## 脳はバカ、腸はかしこい
〔腸を鍛えたら、脳がよくなった〕

藤田紘一郎著
五三館出版
定価1,260円

最近は脳に関する本が売れていますが、本書は「寄生虫博士」を自認する藤田紘一郎博士が「腸を鍛えると脳が活性化する」という理念の下に、脳と腸との関係を分かりやすく解き明かした納得の一冊です。

生物の歴史では、腸の誕生は四十億年前。脳の誕生は五億年前で、そのため生物は脳を十分にうまく使いこなせていません。

バカな脳は自分だけが満足すればよく、体に悪いと分かっていても、甘いものや煙草やアルコールの限界をしばしば無視して、他の臓器が悲鳴をあげているのに知らん顔。腸は限界を超えると吐き気や下痢といった排泄で、それを教えます。

腸には脳と別のコントロール回路があり、それが逆に脳に指示を与えることもあります。うまそうならば何でも食べたがる脳。そんな物を送り込んでくるなと拒否する腸。やはり脳はバカで腸はかしこいのです。卑近な例を挙げながら、専門家として優しく解き明かす、ふざけているようで、超真面目なお勧めの本です。